

# ま ち の 話 題

## 豊岡

親善少年武道大会



会場内には子どもたちの元気な声とともに保護者などの声援が響きわたっていた

### 観衆を圧倒する熱戦

6月19日、豊岡市総合体育館で、「平成17年度親善少年武道大会」が開催されました。この大会は、武道に励む仲間との交流を深めるとともに、武道を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に毎年行われており、今年で28回目を迎えました。

5種目の武道（少林寺拳法、なぎなた、剣道、柔道、空手道）が一堂に会する迫力ある大会には、市内およびその近隣に在住する青少年579人が参加しました。

各種目の団体演武に続いて、個人戦などの試合が行われ、観衆を圧倒する熱戦が繰り広げられました。

## 城崎

『御所の湯』新装オープン

### 自然に溶け込む開放感

7月7日、豊岡市城崎町の旧城崎町役場跡地に7つの外湯のひとつである、新「御所の湯」が新装オープンしました。

当日は開湯を前に、旧「御所の湯」から新「御所の湯」へとお湯を運ぶ、「湯遣し（ゆうつし）の儀」が行われ、新旧の施設間を時代衣装をまとった人たちが古典行列を行いました。

建物は、京都御所を連想させる造りで、浴場はガラス屋根に覆われた開放的な空間で、豪快な滝の流れや緑の木々を眺めながらゆったりと入浴できます。初日当日は無料開放され、一番風呂を目指して観光客や市民約300人が長蛇の列を作っていました。



新『御所の湯』のオープンを祝い、縁側で雅楽演奏が披露された

## 竹野

竹野川に親しむつどい

### 美しい川に感謝して



タモを持って一生懸命に魚を追いかける子どもたち。その目は真剣

6月19日、好天に恵まれた竹野川で、竹野川に親しむつどいが開催されました。

竹野町ふるさと創生協会主催による本イベントは、地域を南北に流れる竹野川への理解を深め、川を大切に作る気持ちを育くんでいこうと毎年開催されているものです。

当日は、魚のつかみ取りやうなぎつかみコンテスト、竹野川ウルトラ×クイズなど多彩なイベントが実施され、500人を超す人たちが川と親しみました。

なかでも魚のつかみ取りが子どもたちに大人気で、いけすに放流されたアマゴやニジマスを手やタモで捕まえては自慢そうに見せていました。また、暑さのあまり水着で泳ぐ子どももいて歓声が響いていました。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係までご連絡ください。



コースの途中に設けられた飴や冷たいお茶のサービスで参加者は体力回復

神鍋高原一帯の豊かな自然をゆっくり歩きながらその魅力にふれてもらおうと、7月9日から10日にかけて「兵庫・神鍋高原七タウオーク」が開催されました。市内外から集まった430人の参加者は、それぞれの体力に応じて、神鍋山噴火口に行灯が誘う夜の散策や、神鍋溶岩流やアスナロ群生などの景勝地を廻る日中の散策に参加し、地元の方から説明を聞きながら心地よい汗を流していました。

また、ゴール後は、疲れた体を癒すためにゆとろぎ温泉や湯の原温泉に入浴し、ウオークの思い出に花を咲かせながら、来年の再開を約束していました。

## 日高

### 初夏の神鍋高原を満喫

兵庫・神鍋高原七タウオーク

## 出石

願い事いっぱい！

七夕交流会



みんなで輪になってお礼のあいさつをする子どもたち

7月7日、出石養護学校では、小野小学校3・4年生を招いて、「七夕交流会」が行われました。今回で31回目を迎えるこの交流会は、学校間の交流を深めるために毎年行われているものです。

子どもたちは体育館に飾られた天井まで届きそうな竹に、「元気で大きくなれますように！」「養護学校児童と小野小学校児童が仲良くなれますように」などの願い事を書いた短冊をたくさん吊るしていました。

飾り付けの終わった後は、みんなで七夕の歌をうたい、いつまでも心に残るようなふれあいを楽しみました。

## 但東

薬師祭

### お寺で 津軽三味線コンサート

7月10日、但東町栗尾の松禅寺で栗尾ふるさと委員会主催による「薬師祭」が行われ、多くの人で賑わいました。

当日は、写経、法要が行われた後、会場の皆さんにつきたてのきな粉餅が振舞われ、続いて、2003年津軽三味線全国大会女性部門優勝者の村富満世さんによる楽譜なしの即興の三味線の演奏が行われました。参加者は、早いバチさばきによる三味線の高い音にじっくりと聞き入っていました。

住職の高橋正毅さんは「お寺でコンサートを行うのは、今年で8回目です。楽器の音を生で聞いていただき、自分の心を落ち着かせてください」と話していました。



早いバチさばきによる津軽三味線の高音の演奏にじっくりと聞き入る参加者